



▲仮置き場のゲートを通過する先導車と運搬車両



▲大型土のう袋をクレーンで積載しシートで覆います

村からの試験輸送初日となったこの日は、実際の積載作業などが公開され、準備を整えた最初のダンプロトラックが小宮国有林仮置き場を出発。先導車に続いてゲートを通過し、県道原町川俣線へと向かいました。

試験輸送の車両には、「除染土壌等運搬車」と表示があります。10tダンンプ3〜5台が、1日あたり2回程度往復して、おおよそ1か月の期間に約1000m³を搬出。検証を行い、その後の本格輸送に備えます。

除染に伴い生じた土壌等(不燃物)を「中間貯蔵施設」予定地(大熊町・双葉町)の保管場へ移送する「試験輸送(パイロット輸送)」が始まりました。この試験輸送は、本格輸送を前に、安全・確実な輸送実施を確認する目的で、環境省が全県域を対象に行っているものです。

11/11 小宮 除染土壌等の試験輸送開始

除染廃棄物等の処理を進める
試験輸送と減容化施設「火入れ式」

11/25 蕨 減容化施設の「火入れ式」

国が蕨平地区に建設した仮設焼却施設の「火入れ式」が行われました。この仮設焼却施設では、除染で発生した廃棄物(草・枝葉・落葉など)や家屋の解体によって出る可燃ごみなどの処理を行い、また、村民が避難でお世話になっている5つの市町の下水汚泥や農林業系廃棄物も受け入れます。

式には、丸川珠代環境大臣、内堀雅雄県知事らが臨席しました。丸川大臣は「県下で自治体を越えて処理を行う施設は初めてであり、村と蕨平地区の皆さんの英断に敬意と感謝を申し上げます」とあいさつし、また、菅野村長は「先人から受け継いできた『までの精神』による」ところです。お互い様であると受け入れてくれた村民を誇りに思います」と住民への感謝を述べました。



▲関係各位による火入れのセレモニー。中央が丸川大臣



▲施設の視察。中央から右に村長、丸川大臣、内堀知事

平成27年11月15日執行

福島県議会議員一般選挙
南相馬市・相馬郡飯舘村
選挙区の結果について

当選者
太田 光秋 (自由民主党)
高野 光二 (無所属)

※立候補届け出順

任期満了に伴う福島県議会議員一般選挙が11月5日に告示されました。

南相馬市・相馬郡飯舘村選挙区では、立候補の届け出のあった者が定数2人を超えなかったため、無投票となりました。

今回当選した議員の任期は4年となっています。



▲村民と村・国職員が検討を行っています

帰村後の暮らしを守る重要課題について検討
暮らし検討委員会

村では、帰村後の地域交通のあり方や商工業の再開に向けて暮らし検討委員会を開催しています。

11月9日に開催された初回は、委員を代表し、菅野村長より濱田光弘さん(草野)に委嘱状が交付されました。

会では、「地域交通のあり方や運営等」「商工業の再開や活性化等に向けた事業」について検討を進め来年3月を目途に検討結果をまとめる予定となっています。

自宅に眠っている
写真・動画
募集しています

村では、村に関連する写真や映像を集めています。村デジタルアーカイブサイト上で公開しても良い写真または映像をお持ちの方は総務課企画係までご連絡ください。

皆様のご協力をお願いいたします。

総務課企画係(飯野出張所)
☎024-1562-4246
または4264)

村デジタルアーカイブ
利用方法

パソコン・スマートフォンから
村ホームページトップ画面「飯舘村デジタルアーカイブ」をクリックまたは、「飯舘村デジタルアーカイブ」で検索
村配布タブレットから
トップ画面「インターネット」を押す ↓ 一番上の「飯舘村デジタルアーカイブ」を押す

☆村民共通のアルバムをどうぞご利用ください。



村デジタルアーカイブ内
写真の一部をご紹介します

村内開拓風景 年代不明
苦しくつらい生活の中でも、互いに励まし助け合いながら人々は飯舘村を築き上げてきました。

